

台湾修学旅行

今年度の修学旅行は、目的地を台湾とし、10月20日から23日の日程で実施しました。

■ 1日目

早朝に羽田空港に集合、4時間半のフライト後、台北の松山空港に到着しました。その後、故宮博物院を見学しました。



■ 2日目

朝食後に、台湾に留学している大学生とB&Sプログラムを行いました。世界各国から来た大学生と英語でコミュニケーションをとりながら、台北を散策しました。一緒に美味しいものを食べたりショッピングをしたりしながら、台湾の文化と同時に留学生の母国についても学びました。

午後には「千と千尋の神隠し」のモデルとなったことで有名な九份に行きました。





■ 3日目

この日は学校交流と文化体験を行いました。学校交流では、両校のダンス部がパフォーマンスを披露して盛り上げてくれました。その後、台湾の文化を紹介してもらったり現地校の授業を体験させてもらったりしながら、現地の高校生と親睦を図りました。

文化体験では、台湾の名菓パイナップルケーキ作り、小籠包作り、天燈上げなどを楽しみました。夜は士林夜市を観光しました。





■ 4日目

帰国前に中正紀念堂を見学し、帰国しました。



■ 生徒の声

*中国語も少し喋れるともっとよくコミュニケーションが取れると思う。

*学校交流はとても良かったので今後も継続して欲しい。

*台湾だと中国語が中心なので英語圏である国を選べばもっと英語の授業などが生かせるのでそっちの方がいいなと思った。しかし、日本国内ではなく海外研修というのは、本当にいいと思った。

■ 修学旅行を終えて

これまでも本校では、国際教育の観点から生徒一人ひとりの視野を広げ、B&Sプログラムや現地高校との交流を通じて国際交流への理解を深めるという目標を掲げて、海外修学旅行を実施してきております。マレーシアから台湾へと行先を変えて今回は4回目となり、特に、B&Sプログラムにおいて留学生との交流を盛り込んだ成果として、日本・台湾以外の文化にも触れる機会が持てました。「国が異なると文化も異なる」ということを肌で実感し、英語だけでなく、中国語でのコミュニケーションの準備の必要性を実感するなど生徒ひとりひとりの国際的視野の養成に向けて、台湾修学旅行は意義深い体験となり

ました。(令和元年度)